

山口県クライシスレスポンスチーム（CRT）



第9回出動記録（高専学生殺害事件）

2006年8月29日（火）、31日（木）、9月1日（金）

2007.10.07.

ア 事件と出動の概要

概要

2006年8月28日（月）15:00頃、高専の研究室で5年生の女子学生が殺害されているのを、探していた職員と学生が発見しました。その後、行方が分からなくなった19歳の少年が容疑者とされました。



発生当日

18:00頃から報道。隊員に情報を流し、CRTは「出動警戒」態勢をとりました。

派遣隊員

翌8/29（火）、8/31（木）、9/1（金）の3日間、登録隊員19人（出動可能18人）中15人（延べ33人）の隊員を派遣しました（初出動2人）。内訳は；

- 1日目9人、2日目10人、3日目14人。
- 医師3人、臨床心理士6人、精神保健福祉士3人、看護師2人、その他1人。
- 指揮担当隊員（隊長、副長）3人、直接ケア隊員3人、補助業務隊員9人。

指揮担当隊員のみ公表しています；

隊長 廣岡逸樹（ひろおかいつき）	臨床心理士／山口県精神保健福祉センター主査
副長 河野通英（かわのみちひで）	精神科医／山口県精神保健福祉センター所長
副長 稲野靖枝（いなのやすえ）	精神科医／長門一ノ宮病院医長

イ 活動メニュー項目別解説

CRTの5つの支援メニュー

- ①評価とケアプラン策定の手助け…校長、教育委員会への助言
- ②教職員への助言、サポート…一般教職員へのサポートと集団対応
- ③保護者への心理教育…保護者会、遺族、葬儀への対応のサポート
- ④子どもと保護者への応急対応…子どもと保護者への個別ケア
- ⑤その他…マスコミ対応サポート等

注）高専は派遣対象校ですが（ただし、高3までの影響で判断します）、大学や短大などは派遣対象校ではありません。

ご注意 個別に関わる活動は公表しておりません

①評価とケアプラン策定の手助け

①は校長への助言です。

(1)危機対応態勢

- 危機時には校長のリーダーシップが重要であることから、校長（本部）へ随時アドバイスしました。
- 職員会議や校内チーム会議等へ出席して、基本方針や行動計画について助言しました。



校長室

(2)状況把握と情報管理

- 情報管理と積極的な情報発信をアドバイスしました。
- 学校全体のダメージを専門家として評価しました。
- 調査についても助言しました。

(3)危機対応計画

- 保護者会などの当面の計画について助言しました。
- 遺族や被害者に配慮しつつも、可能な限り日常活動への段階的復帰を原則に、具体的な計画を協議しました。
- C R T撤収後のカウンセラー派遣を機構に求めました。



職員会議

②教職員への助言、サポート

①は校長に対してでしたが、②は一般教職員へのサポートと学生への集団対応です。

(1)ケア態勢

- ケア会議に出席し、心のケア全体を統括しました。
- 保健室をサポートし、学校再開時には保健室にC R Tが待機しました。
- 学生相談とも連携しました。
- 9／1（金）にはカウンセラーと協働し、引継を行いました。

(2)被害把握

- 個々の重症度を評価しました。面接・訪問など活動を集計しました。
- 8／30（C R Tは活動休止）に教師が当該クラスの学生の個人面談をするに際し、質問項目などを用意し、関わり方をアドバイスしました。



ケア会議

(3)ケア計画（学校再開）

- 9／1（金）の学校再開へ向けて個別相談（カウンセリング）の態勢を構築しました。9／1（金）は相談室を6室用意しました。

◆表 学校再開時(9/1)のカウンセリング態勢

担 当	場 所	態 勢	備 考
C R T	相談室 1	C R T 2 人 (TF07)	
	相談室 2	C R T 2 人 (TF07)	
カウ ンセ ラー	相談室 3	カウンセラー 1 人	予備 2 人
	相談室 4	カウンセラー 1 人	
教職員	相談室 5	教師 2 人	
	相談室 6	教師 2 人	



学生相談室（保健室）

- 学校再開に向けて周到な準備をサポートしました。
 - ・全校集会ではパニックが広がる危険性があることを伝えました。9／1は保護者会もあることから、9／1の校長メッセージは放送で伝えることになりました。
 - 中学校や高校と異なり、多数の生徒が保健室に殺到する事態は起こりませんでした。
 - ・校長のメッセージについても協議しました。
 - ・気分不良等を訴えた生徒に対応すべく、保健室の態勢をとってもらいました。
- 9／1にいきなりではなく、前もってクラス集会(8/30)や寮生集会(8/31)を開催することを進言しました。

(4)クラスでの喪の過程

- 通夜や葬儀への学生の参列についても助言しました。学生達の主体的な取り組みが行われました。

(5)教職員への助言、ケア

- 教職員の相談を随時受け付けました。
- 助言の中でケア（カウンセリング）も行いました。始めからカウンセリングとして求められたのが4件ありました。
- 学校再開に向けて、「学生にどう伝えるか」を担当と何度も協議しました。

(6)教職員への心理教育

- 教職員への心理教育（学生の反応や症状とその関わり方、教職員のメンタルヘルス等のレクチャー）を4回行いました。

◆表 教職員への心理教育

月／日	対 象
8／31	当該クラス以外の担任教師
8／31	寮職員等
8／31	教職員全員
9／1	教職員全員（総括）



教職員への心理教育

(7)教職員サポート

- 8／31（木）夜の寮生集会（約120人）にC R Tが同席し、サポートしました。
- その他学校内外で学生へのグループワークをサポートしました（4回）。
- 9／1（金）の午前中、いくつかのクラスに教職員と専門家が入り、観察しました。

◆表 学校再開時(9/1)のサポート態勢（教職員によるサポートを除く）

区 分	場 所	C R T	カウンセラー
教 室	教室 1	2 (TF07)	1
	教室 2		2
	教室 3	2 (TF06)	
	教室 4	2 (TF07)	
保健室	保健室	2 (TF07)	
	別 室		
予 備		2 (TF01)	1

③保護者への心理教育

③は保護者会、遺族、葬儀への対応のサポートです。

(1)保護者会とPTA

●保護者へどう伝えるかを助言し、保護者向け文書作成を支援しました。CRTとして保護者向けパンフレット「ここらだってケガをすることがあります」を作成（手直し）しました。

●保護者会の持ち方については、5年生保護者会を先行して8／31に開催することを進言しました。保護者会に同席しました（計5会場）。

●保護者会での心理教育（症状や対応方法のレクチャーと質疑応答）を実施しました。（計4会場）

例）“本人が話したがっている時はしっかり聞いてあげ、そうでない時は根掘り葉掘り聞かないでください。”

◆表 保護者への心理教育

月／日	対 象
8／31	5年保護者
8／31	特定保護者
9／1	全学年保護者（第1会場）
9／1	全学年保護者（第2会場）



保護者への心理教育

●保護者会後に簡単な相談（3人）を受けました。

(2)遺族への対応

●学校への助言、サポートを行いました。

(3)学校での喪の過程

●通夜や葬儀への対応について学校へ助言しました。

④子どもと保護者への応急対応

④は子どもと保護者への個別ケアです。

(1)気になるケースへの対応

- 教職員と訪問を3回行いました。(個別相談または集団対応と重複)
- 気になるケースにはできるだけ面接相談を勧めてもらいました。

(2)個別相談

- C R Tによる学生や保護者への面接相談の実績は以下の通りです。

◆表 学生への面接相談（訪問を含む）

学 年	5 年 生	5 年 生 以 外	合 計
人 数	1 人	7 人	8 人

◆表 保護者への面接相談（訪問を含む／保護者会後を含む）

学 年	5 年 生	5 年 生 以 外	合 計
人 数	3 人	3 人	6 人

△C R Tでは専用の電話相談態勢は組みませんでしたが、若干の電話相談がありました。

学校再開時(9/1)の学生の様子

- 多くの学生は表面的には落ち着いて見えたが、そわそわしている学生も見られた。
- 保健室で面接を待っている間は、涙を流して静かに待っている学生が多かった。
- 個人面接では、今後の事件の展開への不安や、頭痛、不眠、食欲不振などの訴えがあった他、取材・報道への不安や不満を訴える学生がかなりいた。

⑤その他

⑤はマスコミ対応サポートと学校安全活動サポートです。

(1)マスコミ対応サポート

- 学校にマスコミ対応について助言しました。

- ①記者は国民の代表として質問しているので、誠実に対応する。
- ②プライバシーに配慮しつつも、積極的に情報発信する。
- ③定期的に記者会見を開く。

- 伝え方について助言し、文書作成等に協力しました。
- 毎日開かれた記者会見に同席しました（計3回）。既に会見は何度か開かれていました。
- 報道窓口担当への助言しました。

- その他、加熱取材・報道にならないように、学校へ助言しました。



カメラの放列 (8/29)



河野副長、廣岡隊長、校長 (8/31)

(2) 学校安全活動サポート

- 学校安全などについて助言しました。

内部活動紹介 ⑨補助業務

指揮担当隊員や直接ケア隊員は子ども、保護者、教職員へのサポートを行います。補助業務隊員は隊員へのサポートを専門に行います。

- 記録、集計、文書作成、面接のサポート、グループワークのサポート、記者会見のサポートなどを行います。
- どの隊員がいつまで出動可能かを常に把握し、任務に必要な隊員が確保できるように「出動シフト」作成を支援します。また、後続の隊員へ出動要請の連絡を入れるなどします。
- C R T ミーティングのサポート、控室の管理、食事の準備、給食、宿営、装備の管理、会計などあらゆるサポートを行います。
- 補助業務主任が補助業務（人事・補給）を統括し、チーム全体の進行管理を行います。



食事の準備



記録

ウ 時系列概説

1日目 12:45～00:50

2006年8月29日(火)

出動隊員9人 (医師3、臨床心理士3、精神保健福祉士1、看護師2)

出動(火)

09:05 学校からC R T情報センターに派遣依頼

09:20 C R Tより学校へ連絡

12:30 河野副長(隊長代理)学校着。12:45から活動開始。

1日目(火)午後

12:45 本部協議(校長他主要職員との協議)

13:00 隊員3人となり、部隊編成等開始

(13:15から校門前で校長会見)

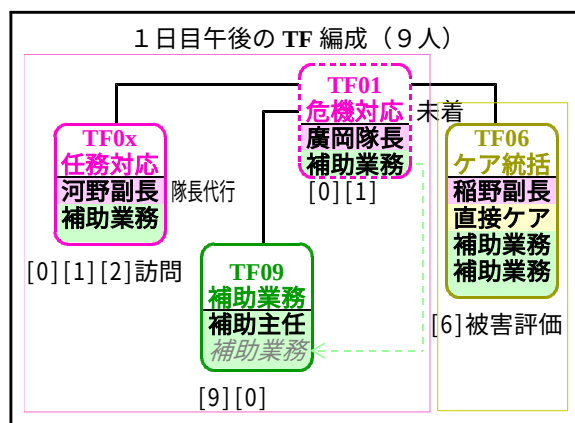
13:25 稲野副長他2人着(隊員6人)

13:37～14:20 校内チーム会議(ケアも含めた主要教職員による会議)

14:40 1回目のC R Tミーティング(6人)

午後のTF(タスクフォース)編成は図の通り。**TF09**“補助業務”は常設。

(補給(食糧)は出動時に実施済み)

15:30 **TF0x**“任務対応”学外へ。**TF06**“ケア統括”はケア協議(被害評価)**1日目(火)夜**

17:45 2回目(夕)のC R Tミーティング

18:00 廣岡隊長到着(19:30に9人揃う)。夜のTF編成は図の通り。

19:30 TF“訪問相談”を編成し、学外へ。

20:00 **TF0x** 校長室で本部協議21:20～22:00 校長記者会見。**TF0x**(河野副長)同席

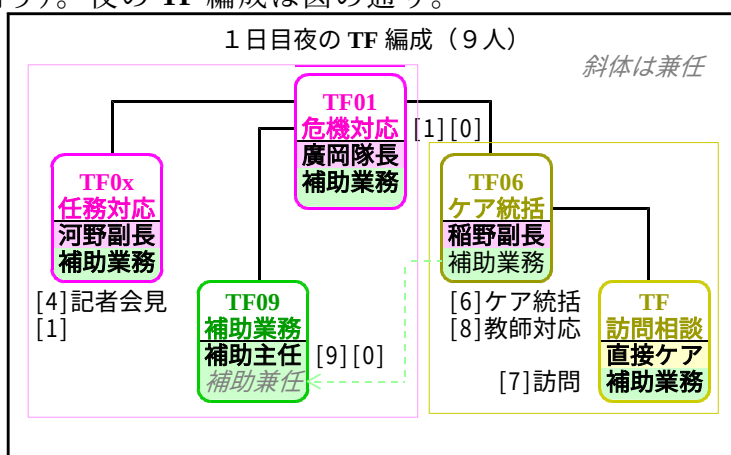
(C R Tの活動日を火、木、金の3日間とし、後続隊員への連絡等を行いました。)

22:15～23:30 校内チーム会議

23:40～00:00 **TF01/0x** 本部協議(カウンセラー派遣等)23:35～00:35 ケア会議。**TF06** / **TF07**(計5人)と教職員数名が明日のクラス集会と個人面談について協議

00:40～00:45 夜のC R Tミーティング(8人)

00:50 1日目終了(隊員8人離脱)



休止日

2006年8月30日（水）

学校により当該学科5年生のクラス集会と個人面談（36人）が行われました。

- ・睡眠について、半数程の学生が不調を訴えている。
- ・食事を十分取れない学生が、10人ほどいる。
- ・事件について話すことに、苦痛を感じる学生が数人いる。

2日目 08:00～02:00

2006年8月31日（木）

出動隊員10人（医師1、臨床心理士5、精神保健福祉士2、看護師1、その他1）

2日目（木）午前

08:00 集合、朝のCRTミーティング（8人）。

午前中のTF編成は図の通り。

08:35～9:00 本部協議。全隊員

09:00 **TF01** “危機対応”（廣岡隊長）教職員30人へ心理教育。

09:15～09:45 **TF07** “個別相談” 学生の集団活動サポート。

09:45～10:10 **TF07** ケア協議

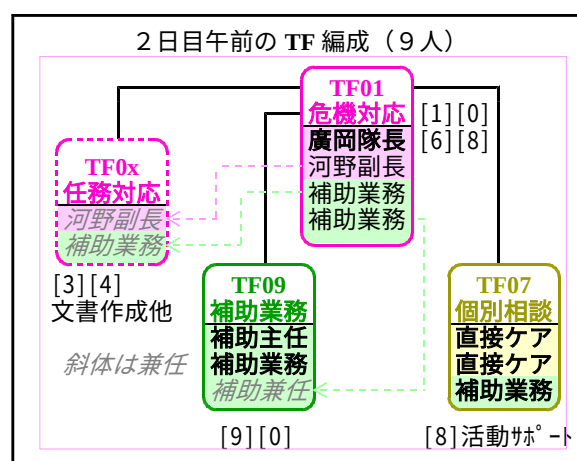
10:00 **TF01**（廣岡隊長）寮職員等数名へ心理教育。

10:10～10:45 **TF07** 学生の集団活動サポート。

10:20～10:50 **TF0x**（河野副長）文書作成“ころだってけがをすることがあります”

11:00～12:00 職員会議。**TF0x**（河野副長）職員全員への心理教育

12:00～12:20 **TF01/0x** 本部協議



2日目（木）午後

12:20～12:50 昼のCRTミーティング（10人）

午後のTF編成は図の通り。

13:00 **TF07** 学生の集団活動サポート。

TF0x 学外へ。

16:30～17:00 **TF09** 2人、補給のため学外へ。

2日目（木）夜

17:45～18:15 夕のCRTミーティング（9人）

保護者会、寮生集会等協議。夜のTF編成は図の通り（次頁）。

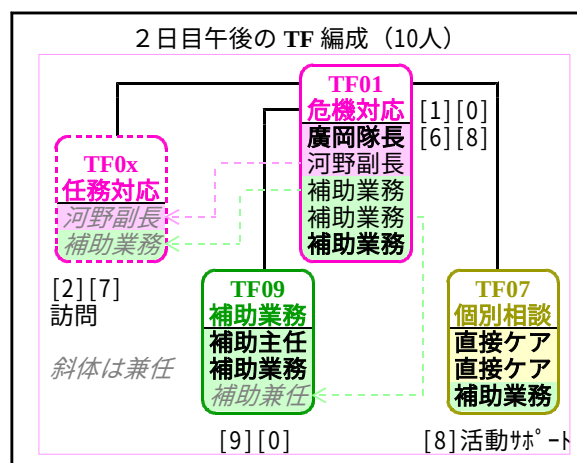
18:30～19:00 **5年生保護者会**（約100人）

TF01/0x が心理教育。**TF07** は保護者会後相談対応

19:20～ 特定保護者会。**TF07**

19:35～20:20 **TF01/0x** 本部協議

20:00～20:45 特定保護者会。**TF07** が心理教育



21:20～ **校長記者会見**。TF01/0x（廣岡隊長、河野副長）同席。この席で、当該クラス学生一同から行方の分からない同級生に宛てたメッセージが校長より読み上げられた。『とにかく心配しているから、無事かどうかだけでも、誰にでもいいから、連絡して欲しい。』

22:00～22:30 **寮生集会**。TF07 がサポート。

22:40～23:00 ケア会議。TF07（4人）が面接相談についての打ち合わせ。

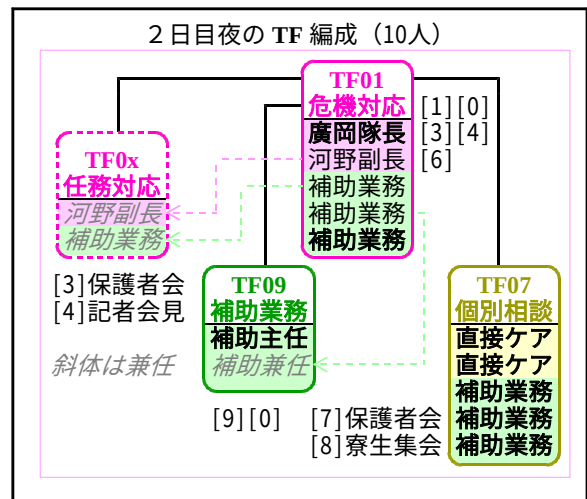
23:00～24:30 校内チーム会議（校長他約20人、C R T 10人全員）。翌日の予定・態勢を協議

24:35～24:40 TF0x 本部協議

24:40～25:40 ケア会議。TF01 / TF07（9人）。翌日の相談態勢について

01:45～01:50 夜のC R T ミーティング

02:00 2日目終了（隊員10人離脱）。一部隊員は近隣の宿等に宿泊。



3日目 07:30～17:00

2006年9月1日（金）

出動隊員14人（医師3、臨床心理士5、精神保健福祉士3、看護師2、その他1）

C R Tとは別にカウンセラー4人が派遣された。

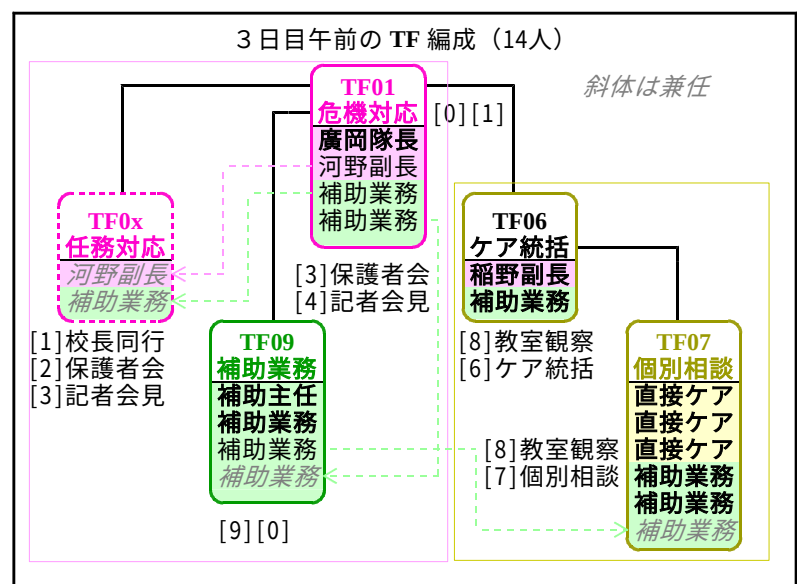
3日目（金）午前

07:30 集合

07:40～08:05 朝のC R T ミーティング（13人。8:40に14人揃う）



C R T ミーティング



午前のTF編成は図の通り。

08:10 TF01/0x 保護者会について

本部協議（2会場での開催方法について）

09:00～ 各ホームルームに入り観察。C R T（TF06 / TF07）8人とカウンセラー4人で4教室と保健室を分担した。

校長による**全校放送**、続いて当該クラスへ。TF0xは校長に同行。

10:00～ カウンセリング開始。C R T（TF07 4人）2室、カウンセラー（4人）2室、教職員（4人）2室の計6室で相談を受ける態勢をとった。

10:00～11:10 **全校保護者会**（第1会場、続いて第2会場）

11:40～ **校長記者会見**。TF01/0x（廣岡隊長、河野隊長）同席

3日目（金）午後

午後の TF 編成は図の通り。

13:25～13:30 **TF01** 職員会議の打ち合わせ

13:45 **TF06** / **TF07** ケアの総括・引継ぎ。

14:40までに隊員5人離脱（9人に）

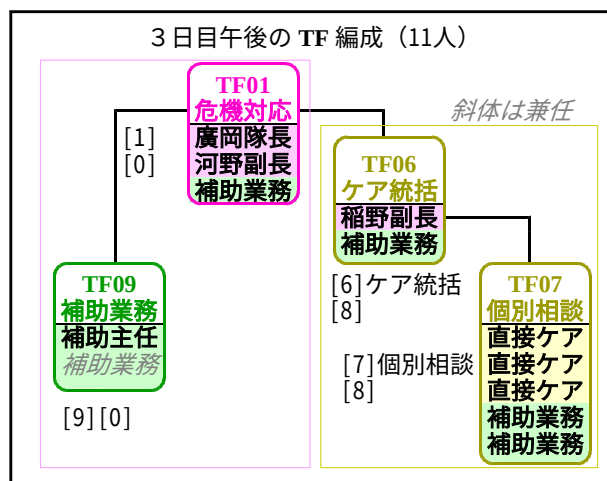
15:00～15:40 **職員会議**。河野副長が総括の心理教育

15:40～16:00 ケア会議。**TF06** / **TF07**

16:00～16:30 最後の CRT ミーティング（9人）。続いて、撤収完了作業等

16:45 廣岡隊長より活動終了宣言。

17:00 **撤収**（隊員9人校舎を出る）



◆表 3日目（午前／午後）の面接相談

学 生	保護者	教職員	計
18人	1人	2人	21人

（カウンセラー、教師によるものを含む）